

志賀原子力発電所 1号機 第13回定期検査における追加点検の実施について

平成25年2月1日
北陸電力株式会社

現在実施している志賀原子力発電所 1号機の第13回定期検査において、蒸気タービン動翼¹取付部を自主的に点検し、健全性を確認することとしましたので、お知らせします。

志賀原子力発電所 1号機は、平成23年10月 8 日に第13回定期検査を開始し、停止中に実施すべき作業・検査を平成24年 3月12日に終了しました。

(平成23年10月 7日、平成24年 3月12日お知らせ済み)

他社の原子力発電所において、低圧タービン動翼取付部にひび等が確認されたことを踏まえ、志賀 1号機について、今停止期間を活用し、自主的に蒸気タービン動翼取付部の追加点検を行うこととしました。

2月上旬からタービン開放作業を開始し、3月上旬から点検を実施する予定です。

以 上

添付資料：蒸気タービン動翼取付部の点検について

1 動翼

タービンに入ってきた蒸気エネルギーを回転力に変換する羽根であり、タービン車軸に固定され、回転する。

蒸気タービン動翼取付部の点検について

他社の原子力発電所において、低圧タービン動翼取付部の検査を実施したところ、ひび等が確認されたことを踏まえ、志賀1号機について、自主的に蒸気タービン動翼取付部の追加点検を実施する。

[点検方法]

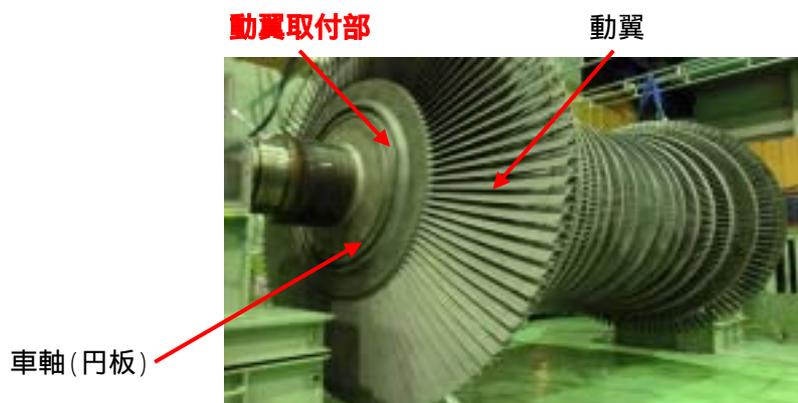
- ・ 動翼を車軸に取付けた状態で、動翼取付部の超音波探傷検査(UT)¹を行う。
- ・ UTにおいて有意な指示波形が確認された場合、動翼を取り外し、磁粉探傷検査(MT)²を行い、ひびの有無及び形状を確認する。

1：超音波探傷検査(UT)

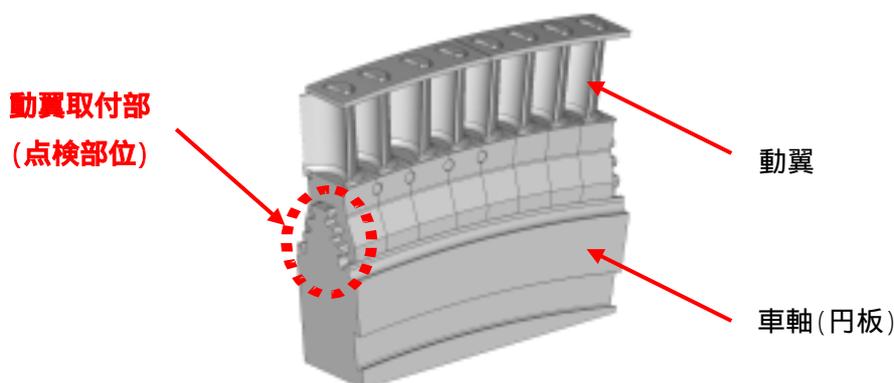
非破壊検査の一種で、検査対象物に超音波を入射したときの超音波の反射波形により、対象物の内部を調査する検査。

2：磁粉探傷検査(MT)

非破壊検査の一種で、検査対象物に磁界を作用させたときの磁粉模様により、対象物表面(表面近傍の内部を含む)を調査する検査。



志賀1号機の低圧タービン



動翼取付部のイメージ